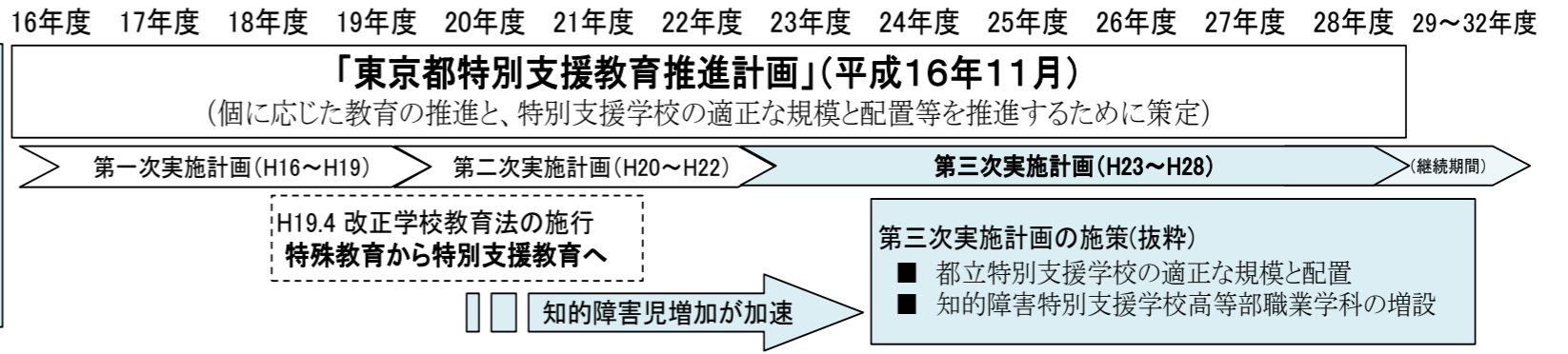
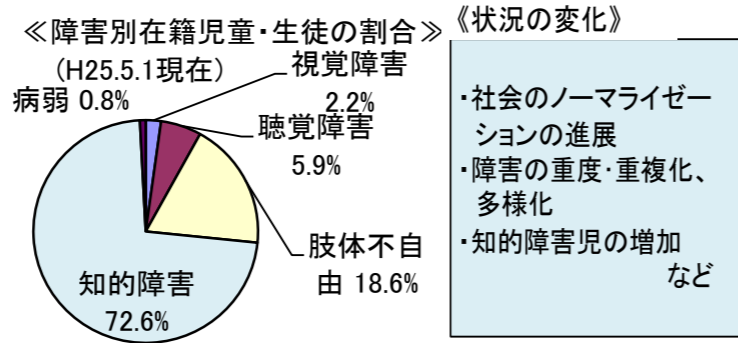


障害児の教育機会確保
▽
S49 全員就学の実施
▽
教育の場の整備

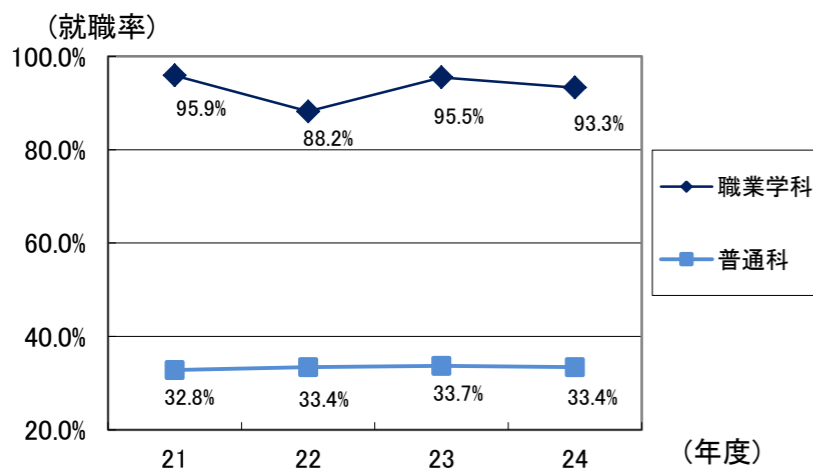
都立特別支援学校
56校 (H26.4.1現在)
視覚障害 4校
聴覚障害 4校
肢体不自由 17校
知的障害 39校
病弱 2校
※併置校を含むため、合計は合わない。



現状・課題

【知的障害特別支援学校における生徒の就職率】

○障害の程度に応じた職業教育を実施するため、高等部職業学科(就業技術科)を設置
○普通科の中には、企業就労の可能性のある生徒がまだ多く在籍しているため、これらの生徒の職業教育も進める必要がある。



就業技術科とは

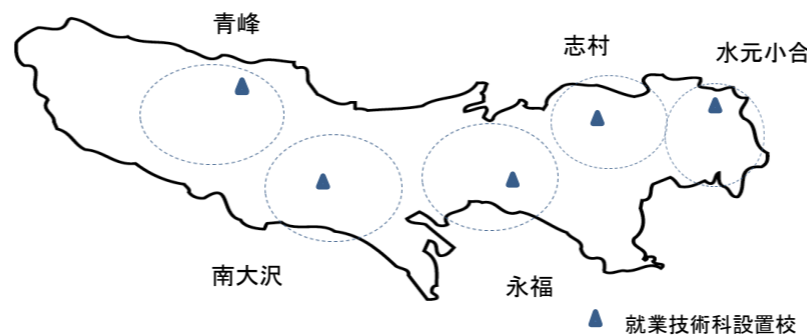
- 知的障害が軽い生徒を対象に、生徒の職業的自立と社会参加に向け、必要な専門的教育を行い、生徒全員の企業就労を目指す職業学科
- 雇用現場に基づいた実習室を学校内に整備し、実践的な職業教育を実施
- 企業就労に向けて4つのコースを編成し、段階的な職業教育を通じて生徒の就労意欲を高める。
- 卒業生は、9割を超える企業就労を実現している。

これまでの取組状況

《職業学科(就業技術科)の設置状況》

入学年度	19	20	21	22	23	24	25	26
学校数	1校	1校	2校	3校	3校	3校	4校	4校
応募倍率	3.28	3.18	2.52	2.12	2.50	2.45	2.08	2.18

○東京都特別支援教育推進計画に基づき、知的障害が軽度の生徒全員の就労実現を目指す、高等部就業技術科を4校設置。(都立永福学園(平成19年度)、都立青峰学園(平成21年度)、都立南大沢学園(平成22年度)、都立志村学園(平成25年度)、都立水元小合学園(平成27年4月開校予定))



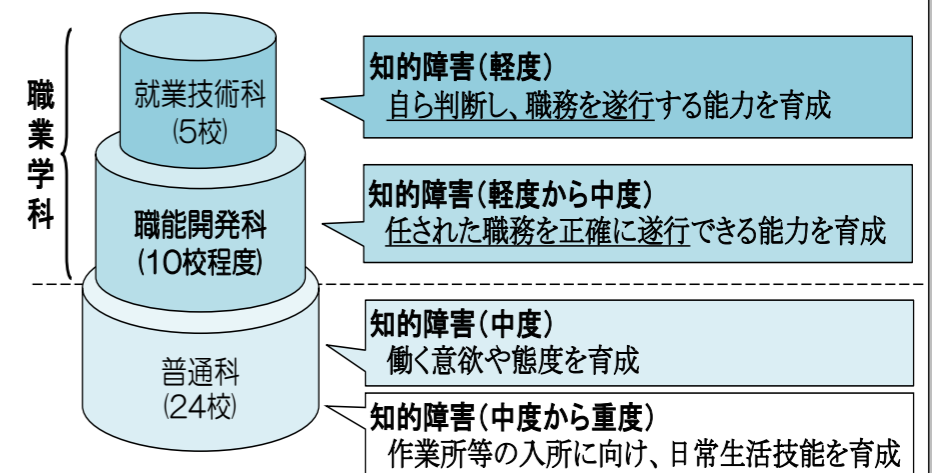
【特別支援学校における取組】

- 職業学科(就業技術科)では、企業ニーズを踏まえ、企業関係者の市民講師としての活用企業就労に向けた実践的な職業教育を実施
- 民間委託による実習先・雇用先企業の開拓を実施し、実習先・雇用先企業の拡大、実習機会の確保を実施。
- 就労支援アドバイザーや東京都就労支援員による企業就労等に向けた進路指導の充実、支援
- 企業側に対し、障害者への理解及び障害者雇用促進のため、東京労働局や産業労働局等と連携して、企業向けセミナーを実施

今後の方向性

【障害の程度に応じた重層的な職業教育体制の整備】

- 知的障害が軽度の生徒全員の就労実現を目指す高等部就業技術科を平成27年度までに5校設置
- 知的障害が軽い生徒を対象に進めてきた就業技術科設置校の実績を踏まえ、生徒の職業的自立を一層進めるため、高等部普通科に在籍する軽度から中度の生徒を対象に、障害の程度に応じた職業教育を実施し、就労実現を目指す、高等部職業学科(職能開発科)を10校程度設置
- 平成26年度に都立足立特別支援学校高等部普通科職業コースを改編し、職能開発科を設置



職能開発科とは

- 知的障害が軽度から中度の生徒を対象に、基礎的な職業教育を実施し、企業就労を目指す職業学科
- 就労先の実績を踏まえ、職業生活に必要な職務を遂行する能力を獲得